

第1回御殿場市地域医療体制懇話会概要

日 時 平成22年4月22日（木）午後1時30分～午後3時45分

会 場 御殿場市林業会館第1研修室

挨拶 市長から挨拶

自己紹介 出席者それぞれから自己紹介がある。

講 話

「駿東田方保健医療圏の現状と課題」について、静岡県御殿場保健所雑賀俊夫所長から講話がある。

意見交換

出席者Aさん

静岡県の保健医療計画では、この地域におけるベッド数は満たされており、現実として公立病院は作ることができない。私立病院に頼らざるを得ない。

出席者Bさん

前市長の時に公立病院に関する話し合いに参加したことがある。その時の話では、病院を作るのは簡単だが設備や人件費などの維持管理に経費がかかり過ぎて、莫大な税金を投入しなければならないということだった。

地域の9つの病院が協力していくことが大切だと思う。

出席者Cさん

前々市長の時に公立病院建設に関する話が持ち上がり、当時の医師会長に反対した。

私立病院は1本釣りて医師を頼み確保しているが、公立病院では医大などに協力を願う医大の先生に来てもらうことが多い。そのような場合、1人の先生が引き上げると他の先生も皆引き上げてしまう。

市立病院を作る必要はないし、民間病院が一生懸命頑張っている。市立病院を作らなくて良かった。

救急センターの医師はどのように確保しているのか。また、どのくらいの負担が出ているのか。

市救急医療課

小児科は医師会にお願いしている。外科について慈恵医大、浜松医大の先生。内科は順天堂と慈恵医大の先生にお願いしている。

事務局

御殿場市からは年間2億3千万～2億5千万、小山町からは6千万～7千万のお金が出ており、赤字で採算が取れていない。

出席者Dさん

沼津市立病院でも閉鎖している病棟がある。それでも赤字になる。一番大変なのはスタッフの確保である。

出席者 E さん

市では、今回の懇話会で民間病院への補助を考えているのか。

出席者 F さん

県の計画で市民が通えない病院（駿河療養所）のベッド数までカウントして、それで充足しているとなるのはおかしい。医療に関して西高東低になっている。

東部への医大誘致、ファルマバレー長期的な視野で取り組むことが大切だ。

出席者 B さん

地域の 9 つの病院のそれぞれの診療科目を知りたいので、調べてほしい。

事務局

次回に報告します。

出席者 A さん

任期はいつまでか。

事務局

短期的に実施することを考えている。9月までには終えたい。

出席者 F さん

県内の他の医療圏における医師確保や医療連携に関する事例を知りたい。

事務局

次回に報告します。

その他

次回 5 月 11 日（火） 19 時 30 分からふじざくらで開催予定。おって開催の通知をします。

以上